



6月20日(木)・21日(金)、都産技研本部にて平成25年度研究成果発表会を開催しました。あいにくの天気にも関わらず、2日間で延べ450名近い方々にご来場いただき、連日大いに賑わいました。基調講演や特別セッションは各回とも満席となり、計108テーマにおよぶ研究成果発表も、多くの方が熱心に聞き入っていました。

研究成果発表

都産技研の研究者や外部連携機関、製品開発支援ラボ入居企業など108テーマにおよぶ研究テーマの発表が行われました。

主な発表分野	発表テーマ例
EMC・半導体	マイクロ波帯における電波吸収体の評価法の確立
情報技術/ エレクトロニクス	情報プライオリティに基づく無線センサネットワークの動的経路制御
メカトロニクス/ システムデザイン	組込みシステム上で動作するRTミドルウェアによる運動制御 —— 模型回転翼機への適用
ものづくり基盤技術/ 少子高齢・福祉	ダイヤモンドバイトによる金型用鋼の鏡面加工
品質強化/ ナノテクノロジー	フェムト秒LA-ICPTOFMSによる微小試料の分析
バイオ応用/ 復興支援技術	被災地で発生した廃木材中塩素の高精度分析
環境・省エネルギー	新旧音響試験室における音響透過損失の比較



『平成25年度研究成果発表会要旨集』
都産技研ホームページでPDFをご覧いただけます。
http://www.iri-tokyo.jp/joho/seika/h25_youshi/

基調講演



▶6月20日(木)10:05~11:05

『次世代ロボットはどうあるべきであり、どうあるべきでないか
 ~巨大人型ロボットによる人間の身体能力拡張への夢~』

金岡 克弥 氏
 立命館大学 総合科学技術研究機構
 先端ロボティクス研究センター チェアプロフェッサー



▶6月21日(金)13:10~14:10

『サステナブル社会に向けた新たな暮らし方とものづくりの潮流
 ~ライフスタイルデザインとネイチャーテクノロジー~』

木村 文雄 氏
 近畿大学 建築学部 特任教授 積水ハウス総合住宅研究所 前所長

基調講演



【会場の様子】

動画を見せながら、日本のロボット技術の高さや実際なかなか普及しない現状、これからの時代でロボットに求めるもの等についてお話いただきました。スクリーンには思考を巡らせる二字熟語を大きく投影し、視覚と聴覚に訴えるような講演が印象的でした。

【会場の様子】

先人の優れた知恵を生かしながら、新しくデザインされた暮らしの提案を、部屋や家具など多くの写真を用いて説明してくださいました。また、現代テクノロジーを駆使したライフスタイルの提案もあり、デザインの視点から今後の暮らしをより合理的にするアイデアが盛りだくさんでした。

特別セッション



▶6月20日(木)13:20~14:00

『オンリーワン製品を生み出す開発・デザインの真髄
 ~小惑星探査機「はやぶさ」帰還に貢献した防振技術~』

松田 真次 氏
 株式会社松田技術研究所 代表取締役
 日本石油輸送株式会社 技術コンサルタント
 社団法人自動車技術会 正会員



▶6月21日(金)14:20~15:00

『超モノづくり部品大賞受賞「ecoチップ」開発の軌跡
 ~現場開発者が語るものづくりイノベーション~』

梅田 俊之 氏
 株式会社東芝 研究開発センター
 ワイヤレスシステムラボラトリー 主任研究員

特別セッション



【会場の様子】

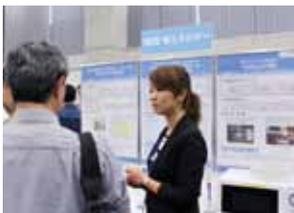
松田氏が製品サンプルを持ってこられていたため、講演開始前から多くの参加者が集まり、活発に参加者とディスカッションしていました。講演中は、開発事例の紹介をしながら、市場のニーズに発想力を持って取り組むことで売れる製品をつくることを熱弁されていたのが印象的でした。

【会場の様子】

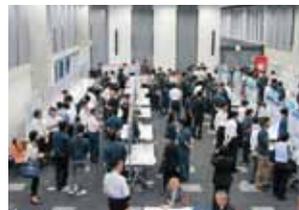
著名な賞を受賞した部品の開発現場の話を開けるとあって、会場は即満席。「ecoチップは、先見の明があったと思われがちだが、開発現場の技術者として常にその時々々の合理性を追求し、確立した基盤技術を何度も発展させて開発に至った」と開発の経緯を丁寧にお話いただきました。

パネル展示・デモンストレーション

東京イノベーションハブでは、パネルや実物展示、資料配布、さらには基調講演の先生によるロボットデモンストレーションも



実施されており、研究成果発表を一堂に見られるため、参加者からは大変好評でした。発表を終えた研究員が集まるコアタイムでは、あちらこちらで来場者と話し込む姿が見られ、特に混雑していました。



見学会

発表会終了後、都産技研の設備を知っていただくために、分野ごとにミニ見学会も実施し、多くの方々にご参加いただきました。

